

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 31日

【評価実施概要】

事業所番号	0177600236		
法人名	有限会社マーファ企画		
事業所名	グループホームはなかわ		
所在地	石狩市花川東1条3丁目12番地 (電話) 0133-76-2877		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年1月18日	評価確定日	平成20年3月31日

【情報提供票より】(19年12月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	12人, 非常勤 4人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	16,500 円
敷金	有(35,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	395 円	昼食 395 円
	夕食	395 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(1月18日現在)

利用者人数	16 名	男性	5 名	女性	11 名
要介護1	4	要介護2	3		
要介護3	6	要介護4	2		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 82.5 歳	最低	77 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	やしま内科消化器科クリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は毎日うがい・手洗いの励行を徹底し、利用者の健康管理を重視した支援を実践している。また、毎週医師が往診のため来訪したり、看護師を配置するなど、医療面において利用者本人・家族の安心に繋がっている。食事に関しては専門業者に献立作成や食材購入を依頼し、栄養バランスのとれた食事提供を行っている。また、2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、利用者家族や地域住民との意見交換を行い、そこで出た意見を事業所の運営に反映させるとともに、地域との交流が深まりつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での課題であった「運営理念の啓発」については、運営推進会議を通じて地域住民への理解が深まるよう取り組んでいる。また、「家族への便り送付」については、定期的に事業所便りを発行し、利用者の様子や健康状態等について家族に伝えている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価実施の意義を理解しながら、自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に運営推進会議を開催し、利用者家族や地域住民との意見交換を行い事業所の運営に反映させている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>事業所内に意見箱を設置し、家族が意見や要望等を伝えやすい工夫をしている。また、運営推進会議の際に出席した家族から意見等をより聞き、日々のケアサービスに活かせるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事や町内会の活動等に積極的に参加し、地域との連携を図っている。また、近隣の食堂や店を頻繁に利用しており、地域との交流が深まりつつある。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時からの独自の理念を掲げ、日々のケアサービスに取り組んでいる。	○	今後、地域密着型サービスとしての役割を理念に盛り込むなど、理念を検討することが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新規職員採用時に理念を伝えるとともに、会議やミーティング時に理念を確認し、日々その実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や活動に積極的に参加し、地域住民との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解しながら自己評価に取り組んでいる。しかし、全職員が参加しての取り組みには至っていない。	○	今後は、自己評価を行うための十分な時間を設け、全職員で話し合い取り組むことが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、様々な課題を掲げて構成員と意見交換を行っている。また、そこで出た意見を事業所の運営に反映させ、更なる質の向上に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者と連携を取り、管理者会議に参加し、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に事業所便りを発行し、利用者の様子や健康状態などを個別に記載し、家族に伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に家族への参加を呼びかけ、その際に出た意見・要望等を聞き事業所の運営に反映させるよう取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動等があった場合に利用者へのダメージを与えないよう、全職員が利用者一人ひとりの馴染みの関係を構築している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規採用職員を対象とした実践研修を実施し、管理者が細かく指導している。また、テーマを掲げながら随時研修を実施している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今のところ、地域の同業者と交流する機会を設けるまでには至っていない。	○	今後、同業者と連携を取り、相互訪問や合同研修会等を実施し、互いに更なる質の向上に取り組むことが期待される。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に利用者本人・家族に事業所を見学してもらい話し合いを重ね、職員と馴染みの関係を築いてからの入居となるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者に寄り添い、喜怒哀楽をともにしながら支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者の希望や意向を把握し、日常的にデイケアを利用する利用者もいるなど、本人本位となるよう支援している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	毎週かかりつけ医による往診があり、受診後に看護師を交えて話し合い、そこで出た意見やアイデアを採り入れながら介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	6ヶ月ごとの見直しを行うとともに、利用者の状態変化に応じてそのつど話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	理美容院への送迎や通院時の付き添いなど、本人や家族の希望に応じた支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	毎週かかりつけ医による往診を受けており、利用者の状態についていつでも相談できるような体制を築いている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化・終末期に向けての指針を定め、入居時に家族に説明し同意書を交わし、方針を共有しながら対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者一人ひとりを尊重し、プライバシーに配慮した対応の徹底を図っている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者との関わり合いを大切に、一人ひとりの希望を把握し、その人らしい生活となるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事の準備や後片付け等を職員と一緒にに行っている。また、食事の時間が楽しみとなるよう献立を事業所内の見やすい場所に掲示するなど、工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯など利用者の希望に合わせて、病院のデイケアも含めて、週に4回の入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・食器洗い・縫い物など、利用者の生活歴や力に応じた役割の支援を行っており、利用者にとって励みとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・畑作業・デイケアや行事での外出など、一人ひとりの希望に合わせた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、ユニットの入り口に鈴を設置するなど、開閉を把握しやすいよう工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を実施し、消防署から指導を受け、緊急時に速やかに避難できるよう備えている。また、自主検査表を作成し、日頃から点検を行っている。	○	今後、緊急時に地域から協力が得られるよう働きかけることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の嗜好を採り入れ、専門業者に依頼し、献立作成や食材購入をしており、バランスのとれた食事内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や台所は利用者の状況を把握できるよう間取りになっており、音・光にも配慮し利用者が寛いで過ごせるような居心地の良い空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や調度品が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。